



# 平成28年度予算案

## 一般会計 695億3,893万円

### 新年度の施政方針(概要)

## 協働による「都市再生」と「コミュニティ創生」の更なる充実と 多世代交流と多職種連携による「元気創造都市・三鷹」のまちづくりの推進を

平成28年度の市の予算案が、2月26日から始まった市議会定例会で審議されています。  
市では、この3月に「第4次三鷹市基本計画」の第1次改定を確定し、未来に向けた次なるステージへと進み出します。新年度は、民学産公の協働による「都市再生」と「コミュニティ創生」の更なる充実によって、市民のみなさんの心身共の健康増進と総合的な福祉の向上を図るとともに、多世代交流と多職種連携によって「元気創造都市・三鷹」のまちづくりを推進していきます。

予算案の概要については2・3面で紹介しています



三鷹市長  
清原慶子

私は、平成27年4月の三鷹市長選挙で市民の皆様の信託を得て、市政に臨む決意を新たに、市長として4期目のスタートを切りました。現在、市長の任期と連動して「第4次三鷹市基本計画」の第1次改定と、関連する個別計画の策定や改定について、3月の確定に向けた取り組みを進めています。

昨年12月には、三鷹市の行政計画の基本として市政の将来ビジョンを示す『三鷹市基本構想』が目標年次を迎えたため、目標年次や計画人口を変更する議案を市議会に提出し、満場一致で可決していただきました。基本構想の基本理念である「平和の希求」「人権の尊重」「自治の実現」については、三鷹市の将来を展望するうえで、市民の皆様と共有する理念として、引き続き高環境・高福祉のまちづくりを着実に進めてまいります。

平成28年度は、三鷹市の最高規範として「参加と協働」の理念を明示している『三鷹市自治基本条例』が、平成18年4月の施行から10年を迎えます。同じく、「コミュニティ・スク

ルを基盤とした小・中一貫教育」も、平成18年4月の「にしみたか学園」の開設から10年を迎えます。参加と協働による「コミュニティ創生」の推進は、市民の皆様の活躍の場を広げ、地域に活力と安全安心度の向上をもたらす、市政を大きく前進させる原動力となっています。

三鷹市では、これまでの「参加」と「協働」のまちづくりの歴史を通して、市民、関係団体の皆様と市との間で、顔の見える関係づくりが構築されてきました。そうした信頼関係を基礎とした「多世代交流」と「多職種連携」が、地域課題についての新たな気づきや課題解決に向けた新たな出会いを生み出し、地域の活性化につながる効果が生じるものと期待しています。そして、幅広い市民の皆様が、それぞれの地域の現場で活躍され、自己実現や達成感を実感していただくことによって、市民の皆様の、そして地域の「元気創造」が推進されるのではないかと考えています。

### 「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」と各個別計画などの着実な推進

#### 1 最重点プロジェクトである「都市再生」について

「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」(※)の整備は順調に進捗(しんちよく)しており、今後は、市・市民・指定管理者・関係団体などとの協働による最適な管理運営体制を構築するための検討を進めていきます。管理運営主体の中心として、(公財)三鷹市芸術文化振興財団を改組する新財団を指定管理者に予定しており、29年4月の開設に向けて、関係団体などと連携を図りながら開設準備に取り組めます。



三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備後のイメージ

「上連雀分庁舎」については28年10月の開設を予定し、「環境センター跡地」「日本無線三鷹製作所移転後の跡地利用」については周辺環境と調和したまちづくりを推進していきます。  
※今号より施設名称を「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」から変更しています(5面参照)。

#### 2 最重点プロジェクトである「コミュニティ創生」について

地域ケアネットワーク(地域ケア)推進事業では、27年2月に7カ所目の地域ケアが設立し、高齢者や子育て世代などの幅広い市民の出会いを通して、共に支え合う共助の絆づくり、健康長寿のまちづくりが全住区で進められています。市では、地域ケアを支える人財養成を進め、各

地域ケアの交流や情報交換の機会を支援などを図りつつ、地域活動の活性化へとつなげていきます。



西児童館

さらに、多世代交流の拠点として児童館の活用に向けた検討を進めていきます。28年度は西児童館において、中高生を含む若者の居場所づくりのモデル事業を実施します。

#### 3 重点プロジェクトについて

「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」に位置付ける7つの重点プロジェクトを着実に推進します。  
※重点プロジェクトの概要は2面をご覧ください。

#### 4 三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

まち・ひと・しごと創生法に基づく「三鷹市まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、市民アンケートや同戦略推進会議などでの検討を踏まえて、「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」に含めて策定しています。同戦略では、新たに創設された国の地方創生推進交付金を活用して、「三鷹版 働き方改革応援プロジェクト」と「姉妹市町 元気創造交流プロジェクト」を推進します。

### 「新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022(仮称)」の推進

#### 1 行政サービスの質と量の最適化について

改定作業を進めている「新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022(仮称)」では、数量的な行政のスリム化の

みならず、行政サービスの質と市民満足度の向上を図ることとしています。対話による創造的改善により、職員一人ひとりが目的を共有し、組織が一丸となって「受益と負担の適正化」「委託化・民営化」など、事業の多角的な検証・見直しを推進します。

#### 2 組織の見直しによる推進体制の整備について

「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」における主要施策を着実に推進していくために、4月から組織を見直し、推進体制の整備を図ります。

#### 3 国の制度などへの対応と健全な財政運営について

国の制度変更などについて、国や東京都との連携を図る中で、行政サービスに支障がないよう適切に対応していきます。

28年度予算編成において、法人市民税の国税化や法人税の実効税率引き下げの影響により大幅な減収が見込まれていることから、引き続き、東京都などと連携し改善を求めて問題提起を行っていきます。また、国や東京都の補助金を市の施策に効果的に活用することで、サービスの拡充につなげていきます。



「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」における市民参加の取り組み「まちづくりひろば」の様子

施政方針全文は市ホームページでご覧いただけます

# 平成28年度の予算案を

平成28年度予算案における一般会計と特別会計の予算総額は、1,107億4,035万9千円で、前年度予算(※1)と比較すると、6億1,951万9千円(0.6%)の増となります。

一般会計の予算額は695億3,892万8千円で、前年度予算と比較すると1億3,747万2千円(0.2%)の増です。これは、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ(※2)の整備進捗による事業費の減などで都市再生に係る経費が減少するものの、私立認可保育園開設や高山小の時限付き新校舎の整備など、子ども・子育て支援に係る経費が増加したことなどによるものです。

特別会計の予算額の合計は412億143万1千円で、前年度予算と比較すると4億8,204万7千円(1.2%)の増です。これは、国民健康保険事業特別会計が減となったものの、下水道事業特別会計、介護サービス事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計が増となったことによるものです。

今号では、こうした28年度予算案の概要と主な事業の内容をお知らせします。

※1 前年(27年)度予算額は、6月補正後の予算額です。  
 ※2 今号より施設名称を「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」から変更していただきます(5面参照)。

## 各会計別の予算額

(単位：千円)

会計	平成28年度 予算額	平成27年度 予算額	増減		
一般会計	69,538,928	69,401,456	137,472	0.2%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	20,223,307	20,612,743	△389,436	△1.9%
	下水道事業特別会計	3,878,754	3,763,593	115,161	3.1%
	介護サービス事業特別会計	1,124,064	1,066,153	57,911	5.4%
	介護保険事業特別会計	12,123,098	11,490,008	633,090	5.5%
	後期高齢者医療特別会計	3,852,208	3,786,887	65,321	1.7%
	合計	41,201,431	40,719,384	482,047	1.2%
総計	110,740,359	110,120,840	619,519	0.6%	
純計	102,857,383	102,226,597	630,786	0.6%	

※「純計」とは、会計間の重複(繰入金・繰入金)を控除した額です。  
 ※「△」はマイナス。

## 一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位：百万円)

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出 総額	66,922	3.0%	64,789	△3.2%	66,335	2.4%	69,401	4.6%	69,539	0.2%
うち市税	33,685	△0.2%	33,812	0.4%	35,272	4.3%	36,433	3.3%	36,793	1.0%

※「△」はマイナス。

「平成28年度施政方針・予算概要」(1冊200円)、「平成28年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書」(1冊900円)は、相談・情報センター(市役所2階) ☎内線2215で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市ホームページでもご覧いただけます。

## 一般会計 695億3,893万円 (1人当たり379,994円)

※「%」は、一般会計予算に占める割合を示しています。  
 ※1人当たりの金額は、平成28年度の人口見込み183,000人で割り返した金額です。

### 歳出予算

#### 議会費

市議会の運営に



5億1,569万円 0.7%  
(1人当たり2,818円)

#### 総務費

市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに



102億5,706万円 14.8%  
(1人当たり56,049円)

#### 民生費

社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに



330億9,089万円 47.6%  
(1人当たり180,824円)

#### 衛生費

健康増進、ごみ処理、公害対策などに



42億1,056万円 6.1%  
(1人当たり23,009円)

#### 土木費

道路、公園整備、緑化対策などに



62億2,051万円 8.9%  
(1人当たり33,992円)

#### 消防費

消防や防災対策などに



22億2,311万円 3.2%  
(1人当たり12,148円)

#### 教育費

小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに



68億9,395万円 9.9%  
(1人当たり37,672円)

#### 公債費

市債(借入金)の返済に



41億3,641万円 6.0%  
(1人当たり22,603円)

#### その他

消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに

19億9,075万円 2.8%  
(1人当たり10,879円)

### 歳入予算

#### 市税

みなさんから預かりする税金



367億9,317万円 52.9%  
(1人当たり201,055円)

#### 各種交付金

使い方が定められていない国・都からの交付金など



53億2,245万円 7.7%  
(1人当たり29,084円)

#### 使用料・手数料、分担金・負担金

保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入



18億3,543万円 2.6%  
(1人当たり10,030円)

#### 国庫支出金

使い方が定められている国からの負担金・補助金



105億9,201万円 15.2%  
(1人当たり57,880円)

#### 都支出金

使い方が定められている東京都からの負担金・補助金



83億7,920万円 12.1%  
(1人当たり45,788円)

#### 繰入金

基金(貯金)の取り崩しなど



14億8,978万円 2.1%  
(1人当たり8,141円)

#### 市債

都市再生に係る事業などのための借入金



29億6,970万円 4.3%  
(1人当たり16,228円)

#### その他

前年度決算の繰越金や財産売却収入など

21億5,719万円 3.1%  
(1人当たり11,788円)

# お知らせします

☎ 財政課 ☎ 内線2122

## 平成28年度の主な事業

※「第4次三鷹市基本計画(第1次改定)」のプロジェクトに基づき分類しています。

### 都市再生プロジェクト

- 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備の推進と開設に向けた着実な準備(写真左) 26億7,434万5千円
- 上連雀分庁舎整備事業の推進(写真右) 3億9,658万7千円
- 環境センター跡地の利活用の検討 1億3,312万4千円
- 都市型産業等集積用地の取得 6億9,619万6千円



三鷹中央防災公園・元気創造プラザの整備について、28年度の完成を目指し、施設整備とともに周辺道路の電線類地中化(無電柱化)整備を推進します。さらに、29年度の開設を見据え、効率的な管理を実現し魅力的な事業が展開できるよう、最適な管理運営体制の構築に向けて取り組みます。



上連雀分庁舎の整備について、28年8月の竣工(しゅんこう)を目指し、建設工事を着実に進めるとともに、同年10月の開設後の円滑な施設管理を行います。

### 安全安心プロジェクト

- 井口コミュニティセンター耐震補強の実施 5,206万4千円
- 中仙川改修による都市型水害対策の推進 2億1,261万4千円
- 災害時在宅生活支援施設の拡充 299万円
- 通学路の安全確保の充実 956万4千円

### 健康長寿社会プロジェクト

- 在宅医療・介護の連携の推進 786万4千円
- 大腸がん検診の拡充 3,472万4千円
- 特定健康診査・特定保健指導の推進 1億9,683万7千円
- 生活支援コーディネーターの全市展開 2,800万円

### サステナブル都市プロジェクト

- 街路灯のLED化に向けた取り組み 5,384万7千円
- まちなかグリーンベルトの推進 350万円
- 太陽光発電設備の設置によるエコスクール化の推進 8,138万9千円

### 地域活性化プロジェクト

- 太宰治寄託資料の特別公開(写真左) 151万円
- 東京外かく環状道路整備に伴うまちづくりの推進 463万2千円
- 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化(写真右) 600万円



27年度に引き続き、太宰治のご遺族から寄託された重要資料の特別展示会を開催し、三鷹ゆかりの文化人の顕彰事業を推進します(写真は「肖像画(無題、着物姿)」)。



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを見据え、市を訪れる外国人が観光しやすい魅力的なまちづくりを推進するため、案内・誘導サインの多言語化を図ります。28年度は、「三鷹駅前～風の散歩道～ジブリ美術館」周辺の公共施設案内標識と道路愛称標識の多言語化を行います。

### コミュニティ創生プロジェクト

- コミュニティ創生研究事業の推進 53万4千円
- 地域ケアネットワーク推進事業の充実と発展(写真) 1,411万1千円
- 児童館の多世代交流拠点化に向けた検討・準備 683万5千円
- 地域包括ケア会議の推進 869万3千円



誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができる共助のまちづくりを目指し、市内7カ所の地域ケアネットワークが取り組む「地域サロン」や地域での見守り・支え合い、多世代交流などの活動の充実と発展に向けて、引き続き支援します。

### 子ども・子育て支援プロジェクト

- 私立認可保育園の開設支援 3億3,957万円
- 子ども・子育て利用者支援事業の拡充 383万7千円
- 出産・子育て応援事業の実施 3,156万9千円
- 特別支援教室「校内通級教室(仮称)」の設置 1,950万円
- 児童数増に対応した適正な学習環境の確保に向けた取り組み 3億9,257万3千円

### セーフティーネットプロジェクト

- 生活困窮者自立支援事業の充実 2,785万3千円
- 障がい者差別解消に向けた取り組み 208万4千円
- 北野ハピネスセンターの幼児部門移転後の改修に向けた取り組み 1,341万9千円

### 都市交通安全プロジェクト

- 市道第135号線(三鷹台駅前通り)整備の促進(写真) 1億4,215万6千円
- みたかバスネットの見直し 301万9千円
- サイクルシェア事業に向けた取り組み 409万円
- 都市計画道路3・4・13号(牟礼)と3・4・7号(連雀通り)の整備の促進 6億2,032万円



市道第135号線(三鷹台駅前通り)について、バリアフリーに配慮した歩行空間を整備するため、引き続き、踏切以南の西側164mの電線類地中化などの整備を進めます。

### その他の新規・拡充事業

#### 住環境の改善

- 空き家などの管理不適切な建築物に関する適正管理の推進 217万1千円

#### 「21世紀型自治体」の実現と都市自治の確立

- 自治基本条例施行10年に向けた取り組み 310万6千円
- まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 23万3千円
- 社会保障・税番号制度への対応 2億5,596万6千円
- 戸籍本籍地サービスの運用開始に向けた取り組み 397万9千円